

ステロイド (セコステロイド C07C) [2]

注

(1) このサブクラスは、シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格、またはそれから誘導された以下の環構造を含有する化合物を包含する:

—1個または2個の原子によって1個の環が収縮または拡大したもの、

—各々1個の原子によって2個の環が収縮または拡大したもの、

—1個の原子によって1個の環が収縮し、1個の原子によって1個の環が拡大したもの、

—上に定義した収縮または拡大を伴うか、または伴わずに、複数の環に共有されていないシクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の1個または2個の炭素原子が異種原子によって置換されたもの、

—前記の変化の1以上を伴うかまたは伴わずに、同素環または複素環と縮合したもの[4]

(2) サブクラス C07C から C07K に適用するラストプレイス優先ルールを規定するクラス C07 に続くクラス注 (3) に注意すること。[8]

(3) 化合物の治療活性は、サブクラス A61P にさらに分類する。[7]

サブクラス内の索引

ノルマルステロイド.....
ハロゲンまたは酸素を含むもの.....
異項環原子の他に酸素を含むもの 1/00, 3/00, 5/00, 7/00, 9/00, 11/00, 13/00, 15/00
異項環原子として酸素を含むもの 17/00, 19/00, 21/00
硫黄を含むもの 31/00, 33/00.....
窒素を含むもの 41/00, 43/00.....
その他のステロイド 51/00.....
改良スケルトンを有するステロイド.....
レトロステロイド 15/00.....
ノル、ホモステロイド 61/00, 63/00, 65/00, 67/00, 69/00
炭素環で縮合されたもの 53/00.....
ヘテロステロイド 71/00, 73/00.....
ステロイドの製造一般 75/00.....

ファセット分類記号

適用範囲 (1/00~75/00)

化学物質名または化学構造式で記載された有機低分子化合物自体の発明

ノルマルステロイド, すなわち. 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有するシクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン [2]

1/00 炭素, 水素, ハロゲン, または酸素を含有し, 17 β 位が炭素原子で置換されていないノルマルステロイド, 例. オエストラン, アンドロスタン[2]

3/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有

し, 17 β 位が 1 個の炭素原子で置換されているノルマルステロイド[2]

5/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, 17 β 位が 2 個の炭素原子から成る鎖で置換され, 例. プレグナン, かつ 21 位が単一の酸素原子と単結合しているノルマルステロイド[2]

7/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, 17 β 位が 2 個の炭素原子から成る鎖で置換されているノルマルステロイド (C07J5/00 が優先) [2]

9/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, 17 β 位が 2 個より多くの炭素原子から成る鎖で置換されているノルマルステロイド, 例. コラン, コレスタン, コプロスタン[2]

11/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, 3 位が置換されていないノルマルステロイド[2]

13/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, 17 位に炭素-炭素二重結合をもつノルマルステロイド[2]

15/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, 部分的にまたは完全に逆転した骨格をもつ立体化学的に純粋なステロイド, 例. レトロステロイド, L-異性体[2]

17/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格と縮合していない含酸素複素環をもつノルマルステロイド[2]

19/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し 17 位がラクトン環で置換されているノルマルステロイド[2]

21/00 炭素, 水素, ハロゲンまたは酸素を含有し, シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格とスピロ結合した含酸素複素環をもつノルマルステロイド[2]

硫黄を含有するノルマルステロイド, すなわち. シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン [2]

31/00 複素環に属しない 1 個以上の硫黄原子を含有するノルマルステロイド[2]

33/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格とスピロ結合しているかまたは縮合していない含硫黄複素環をもつノルマルステロイド[2]

窒素を含有するノルマルステロイド, すなわち. シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン [2]

C 0 7 J

- 41/00 複素環に属しない 1 個以上の窒素原子を含むノルマルステロイド[2]
- 43/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格とスピロ結合しているかまたは縮合していない含窒素複素環をもつノルマルステロイド[2]

-
- 51/00 グループ C07J1/00-C07J43/00 までに属しない未変性のシクロペンタ [a] ヒドロフェナントレン骨格をもつノルマルステロイド[2]
- 53/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格に炭素環が縮合しているかまたは 2 個の環炭素原子の間での直接結合によって付加的な環を形成している炭素環をもつステロイド[2]

ノルまたはホモステロイド[2]

- 61/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の 1 個の環だけが 1 個または 2 個の原子によって収縮しているステロイド[2]
- 63/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の 1 個の環だけが 1 個または 2 個の原子によって拡大しているステロイド[2]
- 65/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の 2 個の環がそれぞれ 1 個の原子によって収縮しているステロイド[2]
- 67/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の 2 個の環がそれぞれ 1 個の原子によって拡大しているステロイド[2]
- 69/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の 1 個の環が 1 個の原子によって収縮し、1 個の環が 1 個の原子によって拡大しているステロイド[2]

-
- 71/00 シクロペンタ [a] ヒドロフェナントレン骨格が複素環と縮合しているステロイド (スピロ縮合した複素環 C07J21/00, C07J33/00, C07J43/00) [2]
- 73/00 シクロペンタ (a) ヒドロフェナントレン骨格の 1 個または 2 個の炭素原子が異種原子で置換されているステロイド[2]
- 75/00 ステロイドの製造方法一般[4]